

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：商業振興費

事業名【新】県産品展示販売PR事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 県産品流通支援課 国内展開係 電話番号：058-272-1111(内3815)

E-mail：c11370@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 14,693 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	14,693	0	0	0	0	0	0	0	14,693
決定額	12,732	0	0	0	0	0	0	0	12,732

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

・令和6年に開催される「清流の国ぎふ」文化祭2024、清流の国ぎふ総文2024、及び第60回献血運動推進全国大会に来岐する県民や関係者に対し、県産品のPRを行うことで、販売促進を図る。

(2) 事業内容

・県産品展示・販売PR事業

上記3行事開催の際に来岐する関係者が宿泊するホテルにおいて、県産品展示・販売PR活動を行う。

・県産品カタログ販売事業

上記3行事開催の際に来岐する参加者に県産品を購入できるカタログを配布し、県産品の販売促進を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

・県負担10/10

県事業として実施するため

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	324	業務旅費
需用費	579	展示品購入費、事務用品費
役務費	589	郵送料、電話代等
委託料	7,337	・ 県産品展示・販売PR事業 4,439 ・ 県産品カタログ販売事業 2,789
使用料及び賃借料	5,864	会場使用料
合計	14,693	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

(2) 国・他県の状況

(3) 後年度の財政負担

(4) 事業主体及びその妥

事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和6年に開催される「清流の国ぎふ」文化祭2024、清流の国ぎふ総文2024及び第60回献血運動推進全国大会を活用した県産品の販売促進を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
① 3行事での県産品カタログ数	-	0	0	45,000冊	45,000冊	0%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %
令和3年度	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %
令和4年度	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>「清流の国ぎふ」文化祭2024、清流の国ぎふ総文2024及び第60回献血運動推進全国大会が岐阜県で開催されるため、全国から来県する方に対して県産品をPRする絶好の機会である。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>県産品を広く認知してもらうためには、県産品を展示・販売することが重要である。また、帰宅後に県産品が購入できるよう、カタログ販売は有効である。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p>	
(評価) 2	<p>過去の開催では国民文化祭は約28,000人の出演者を迎えており、一度に多くの来県者に県産品をPR出来る機会である。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 国民文化祭、全国高等学校総合文化祭及び献血運動推進全国大会は、毎年各都道府県で開催される行事であり、いかに県産品を良く見せるかが重要である。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 行事で来県した方の県産品購入実績を踏まえて、今後來県される方及び首都圏など遠方での県産品販売手法を検討し、魅力的な県産品展示・販売を行う必要がある。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	